

山路愛山 やまのり 史論家。元治元年十一月二十六日江戸生れ、大正六

年二月十五日歿（六六—一九一七）。本名彌吉、初名左衛門。別號不倒小

史、五斗兵衛、憊蹇獨天、如山、山路生、愛山生、愛山逸民、枯葉山

人、蔽白生等。明治十九年メソジスト教會小入信、二十二年東洋英和

學校卒、翌年雜誌『護教』主筆、二十五年民友社入社、二十七年『信

濃毎日新聞』主筆、二十六年『獨白評論』創刊、二十八年斯波真吉、

中村太八郎等と國家社會黨結成、四十三年『國民雜誌』創刊、大正一

年『獨白評論』再興。

著書『第二國民小説』（愛山生名、合著、明治二十六年六月一日民友

社）、『新井白石』（本名、明治二十七年十一月十日民友社）、『文

豪』（、『第六國民小説』（枯葉山人名、合著、明治二十九年二月一

十（二日民友社）、森田思軒遺著『賴山陽及其時代』（徳富蘇峰共校定、

明治二十一年五月十日民友社）、『文豪』（、『勝海舟』（徳富蘇峰

合著・民友社編、明治二十二年五月十一（二日民友社）、『概世』概世高山彦九

郎』（明治二十二年五月十日文武堂）、『讀史論集』（本名、明治二

十四年四月十七日民友社）、『伊達騷動記』（明治二十四年七月七日

民友社）、『清』清年身録』（本名、明治二十四年八月十八日民友社）、

『先覺詞藻』（同、合著・進藤信義編、明治二十四年十月十一日大阪鐘

美堂本店・鍾美堂支店）、『孔子論』（明治二十八年一月二十八日民

友社）、『社會主義管見』（本名、明治二十九年六月二日金尾文淵

堂）、『支那思想史』支那思想史（明治四十年六月二十八日金尾文淵堂）、

『上野會』上野會名士講演集・第一輯』（合著・千葉縣師範學校上野會編、

明治四十一年二月二十九日千葉・上野會）、『愛山文集』（本名、明

- 治四十二年九月二十日隆文館「時文叢書」()、
 「加藤清正」(明治四十二年二月二十日民友社出版部)、
 「源賴朝」(明治四十二年七月二十三日文藝社「時代代表日本英雄傳」)、
 「漢學大意」(明治四十二年七月十日今古堂書店)、
 「武家時代史論」(明治四十二年十月一日有隣閣)、
 「勝海舟」(明治四十四年四月十日東亞堂書店)、
 「織田信長」(合著・山川多一郎・村田九郎編、明治四十四年五月十日隆文堂書店
文京堂書店、服部書店)、
 「偉人研究」()、
 「救世豐天閣」(明治四十四年六月八日
文京堂書店、服部書店)、
 「佐久間象山」(明治四十四年八月十六日東亞堂書店)、
 「書齋獨語」(明治四十四年十一月五日、其一・大正二年四月十七日敬文館)、
 「得達運動記」(大正元年八月二十五日敬文館「御家運動叢書」)、
 「古今の婦人」(合著・福島四郎編、大正元年九月十六日婦女新聞社)、
 「乃木大將」(大正元年十月十一日民友社)、
 「清河八郎遺著」(編大正二年六月二十日新潮社)、
 「愛山史論」(大正二年十一月一日大元社)、
 「思ひがまゝ」(大正二年五月十八日春陽堂)、
 「二宅雪嶺氏の」(大正四年二月十八日名著評論社、敬文館發賣「名著梗概及評論」)、
 「徳川家康」(大正四年七月五日獨り評論社)、
 「東西六千年」(大正五年二月二十日春陽堂)、
 「山路愛山講演集」(林茂淳速記、第一編・大正五年七月十一日、第二編・十月五日、第三編・六年六月二十日大江書房)、
 「大愚二宅雪嶺」(昭和二十四年八月十日岩波書店
月十日、二宅武藝社)、
 「足利尊氏」(昭和二十四年八月十日岩波書店
月十日、二宅武藝社)、
 「史論集」(小尾俊人解説、昭和二十三年九月十五日
岩波文庫)、
 「基督教評論・日本人の歴史」(山路半四郎校注、昭

和四十一 年二月十六日岩波書店「岩波文庫」等。